

スクラップ&ビルド 活用は 財政運営に必要不可欠



やまもと ひさお
山本 久夫 議員

問

スクラップ&ビルド方式については、効率の悪い施設を効率の良い新しい施設に変更するなどの意味がある。行政運営にも使われる方法で、行政組織の課の廃止や設置、所管事務の変更などを実施し、効率の良い行政組織にすることを目的とする。また、補助金等について見直しを行い、時代の変遷に応じて役割を終えているものは廃止・縮減し、それで生まれた財源をより重要な新しい事業に振り分ける手法だ。

このような観点から、令和6年度予算編成を見ると、歳入においては各基金からの繰出による財源確保と、行政サービスを維持するために苦慮した予算編成となっている。地方交付税についても、算定額の重要な要素となる人口が減少し、将来の交付税に影響を与える状況が予想できる。

有利な財源であった合併特例債も無くなり、歳入においては厳しい状況

になると考える。

町としては、町民からの要望等については出来る限り応え、行政サービスが低下する事の無いよう努力しているものと考えているが、将来を見据えた財政運営は必要不可欠なものと考えている。

財政運営が健全なうちに、将来の行財政について中長期的な対応を検討することが必要であり、スクラップ&ビルド方式の取組みが重要な役割を果たすと考える。

令和6年度予算編成では、事務事業の見直しや事業の廃止・縮減したものはあるか、またスクラップ&ビルド方式の必要性と、今後の取り組みについて考えを問う。

答
松本町長

行政組織機構の変更や事務事業を見直すことは、行政運営において重要な施策であり、令和6年度より住民課環境保全係を更に充実させるために、新たに環境政策室

を設置する提案をしている。限られた財源の中で、事業の廃止、縮減については、財源を踏まえた整理を実施し予算編成を行っている。

その内容は、新たな事業で整理できるものや補助金として継続が困難であると判断したものは廃止の対応を取り、廃止できない事業については、単年度事業費を縮減することを基本に、厳しい財政運営の中で、財源、交付税、基金、起債等を考慮した予算全体の編成の中で事業の廃止、縮減の対応を行っている。

スクラップ&ビルド方式の必要性については、予算の肥大化を防止するために用いる手法だが、同時に住民ニーズに対応していくことも必要であり、行財政運営においては大変重要な方法だ。

一定のルールによりスクラップ&ビルドを実施しなければ、当然総額予算は増える一方で、ビルドとなる事業について財

源確保がしっかりと確保できない場合は、基金の取崩し、町債での対応となる。

この取組みを実行するためには、予算編成プロセスの事業計画協議において、全ての事業の効果検証を行い、より必要な施策に予算を計上し、効

果の薄い事業については廃止や代替案を模索しながら、新たな事業に繋がるように整理する必要がある。

丁寧な内容精査の中で、スクラップ&ビルドを正しく実行することにより中長期的に安定した町の運営を果たしていきたい。



この美しい景色を後世に（土佐西南大規模公園）